

10月31日(金) 広川町古墳公園資料館 家形埴輪を常設展示

久留米市所蔵の石人山古墳出土の家形埴輪が、広川町に譲渡され、常設での展示となりました。

家形埴輪は、全国でも数が少なく、貴重な文化財です。広川町文化財専門委員会会長の佐々木さんは、「64年ぶりに戻ってきた家形埴輪を目にして、涙が出るようにうれしい」と話していました。



11月16日(日) 市町村対抗「福岡駅伝」 2年連続で躍進賞入賞

筑後広域公園で行われたスポーツの総合祭典「第12回市町村対抗福岡駅伝」で、広川町が躍進賞の3位に入賞しました。

躍進賞は、昨年から大きく順位を伸ばした市町村に贈られる賞で、広川町は2年連続の入賞です（昨年は、躍進賞6位）。



11月17日(月) 筑後信用金庫 町内小学校へ図書寄付

筑後信用金庫から町内の小学校へ、計21冊（約6万円分）の図書が寄付されました。筑後信用金庫からの寄付



は今回で12回目。今年は、国語のクイズ本や工作の本などが寄付されました。内川常務理事（写真右）は「子どもたちにさまざまなジャンルの本を手に取って読んでもらい、世界を広げてほしい」と話していました。

11月15日(土) FC広川J 福岡県中央大会へ出場

FC広川Jが、筑後ブロック予選を勝ち抜き、「第49回全日本U12サッカー選手権大会」に出



場しました。選手たちは、「目標としていた舞台で戦えたことが大きな経験となった。ライバルたちに負けないようにさらに上手くなりたい」と感想を述べました。FC広川Jはメンバー募集中です。興味がある人はご連絡ください。閑中村 ☎ 090-1974-6889

11月17日(月) 広川中学校 税についての作文で2人表彰

広川中学校で「税についての作文」の表彰式が行われました。税の理解を深めてもらおうと八女税務署が作文を募集し、八女税務署管内8校から



広川中学校の3年生2人が入選。表彰式では、小川礼夢さん（写真右）が「広川町長賞」、末安冬磨さん（写真左）が「広川町教育長賞」を受賞しました。

11月18日(火) 地域×企業 協働で枝木伐採・地域課題解決

小椎尾区・逆瀬谷区・梯区の地域住民や九州電力送配電㈱・クラフティア㈱・FDS㈱など計40人が協働し、県道・湯の原合川



線や町道二付岩線沿いの枝木を伐採しました。道路にせり出た枝木は通行の妨げとなり、台風時には落下し停電の原因になります。本活動は今回で7回目。参加者からは「来年も行いたい」との声がありました。

11月18日(火)～24日(月)祝 広川町観光協会

太原のイチョウ・いこか祭りは大賑わい



今年は、観覧期間の週末にイチョウの色づきがよく、昨年以上に町内外から多くの人が訪れました。広場内では、フォトブースも設置され、イチョウの葉を持って写真を撮る姿が多く見られました。



11月7日(金) 萩尾孝平さん

持とう「私の夢」講演会開催

広川中学校体育館で、持とう「私の夢」講演会が開催されました。この講演会は、生徒自身が夢や目標を持って学校生活を送る大切さを学び、自分の生き方を考える機会とするため、毎年行われています。今年の講師は広川中学校の卒業生で、アディダスジャパン株代表取締役の萩尾孝平さんです。萩尾さんは在校生徒へ「夢を叶えるための目標を持ち、自らが継続できる努力をしていくってほしい」と語り、公演後にはサッカー日本代表選手のサイン入りユニフォームなどを中学校へ贈りました。



11月23日(日) 下広川小学校体育館

あそビバ！in 広川

下広川小学校体育館で「あそビバ！in 広川」が開催されました。

「あそビバ！」とは、幼少期の子どもたちに必要な動作や技能を、ボールを使った運動やあそびを通して楽しく習得できる親子プログラムです。

当日は30組以上の親子が参加。東京女子体育大学講師の堀内亮輔さんと元バレーボール日本代表の佐田樹理さんが講師となり、体を動かすことの大切さを伝えました。



11月21日(金) 広川町表彰式 町の振興や発展に貢献

広川町役場1階多目的スペースで「第52回広川町表彰式」が行われ、町の振興・発展、福祉向上に貢献した5人が受賞しました。

水室町長は、各分野で尽力された功績に感謝し、「これからも未来づくりに果敢に挑むため、豊富な経験や見識から一層のご指導を賜りたい」と述べました。

受賞者代表の丸山さんは「教育委員として活動をまつとうできたのは、教育長、教育委員、教職員、保護者、地域の皆さまのご支援、ご尽力の賜物と深く感謝します。今後も地域の一員として町の発展のために微力ながらも貢献していきたい」とあいさつしました。



11月24日(月)祝～30日(日) KBC ふるさと Wish 町の魅力をテレビやラジオで発信！



福岡県内の市町村の魅力をKBC（九州朝日放送）のテレビやラジオで発信する「ふるさと Wish」で、広川町が特集されました。

今回は「こどもまんなか Wish」をテーマに、多くの子どもたちがテレビやラジオに登場。24日(月)のテレビ番組「ぎゅっと」では、上広川小5年生の児童たちが「学校対抗玉入れ選手権」に挑戦しました。27日(木)のテレビ番組「Wish+」では、中広川小5年生の4人が「こどもりポーター」として、和洋菓子製造会社「三富(株)」を取り材。プロのリポーターとともに工場内を見学し、従業員に質問をしたり、商品を試食して感想を伝えたりする中で、三富(株)の魅力を紹介しました。期間中に放送されたCMでは、下広川小の児童たちと校長が音楽に合わせて笑顔でスキップ。広川中学校の生徒や町内の事業者が出演したポスターは、町内各所に掲示されました。

そのほか、11月に広川町役場で開催された「ハロウィンナイト」の紹介や、久留米カントリークラブからのお天気中継もあり、町の魅力があふれる1週間となりました。

期間中に放送された番組やCMは右上のQRコードから視聴できます。

